

申込不要  
参加無料

## 医学研究の意義



日時：9月15日(金) 17:45~19:45

会場：千種校南館2Fデルファイホール

講演者：門松 健治 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

司会：高尾 智士 (河合塾 小論文科 講師)

かつて医学という学問はその成立さえも危ぶまれるほどに若かった。ところが20世紀最大の発見の一つとなったワトソン、クリックによるDNAの2重らせんの発見の頃から、医学を含む生命科学は大きく展開し、今や理論的かつ奥深い学問のひとつとしてその地位を確立している。本講演ではがんや神経を例に、医学研究に研究者がどのように向き合っているのか、どのような新事実が分かったのかをお話する。

また、医学の進化に伴って医学教育も大きく変わっている。名古屋大学医学部を例に、大学で何を教えるのか、何を医学部生に求めるのかを紹介したい。

講演者  
プロフィール

門松 健治

(かどまつ けんじ)  
Kenji Kadomatsu

生年月日	昭和32年12月8日
現職	名古屋大学大学院医学系研究科 教授 (生物化学講座分子生物学分野)
学歴	昭和57年3月 九州大学医学部卒業 昭和59年4月 九州大学大学院医学研究科入学 昭和63年3月 同上 単位取得退学
職歴	平成5年10月 名古屋大学医学部助手 (第一生化学) 平成6年5月 同上 講師 (第一生化学) 平成8年8月 同上 助教授 (第一生化学) 平成14年4月 名古屋大学大学院医学系研究科 助教授 平成16年9月 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 平成29年4月 名古屋大学大学院医学系研究科研究科長